

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

日進市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県日進市

### 3 地域再生計画の区域

愛知県日進市の全域

### 4 地域再生計画の目標

日進市（以下「本市」という。）は名古屋市と豊田市の間に位置し、居住・就労にあたって恵まれた環境があることを背景に土地区画整理事業等を進め、市街地の整備等に力をいれてきたことにより、総人口（国勢調査）は、1980年から2010年までの30年の間に、約2.1倍の84,237人にまで増加しており、その後も人口増加が続いている。住民基本台帳によると2020年6月1日の人口は92,072人となっている。

これまでの年齢3区分別人口推移をみると、いずれの区分においても増加傾向にあり、1980年と2010年を比較すると、「15～64歳人口」は約2.0倍、「65歳以上人口」は約5.7倍になっている。

65歳以上の人口をみると、「65～74歳人口」と「75歳以上人口」はともに増加傾向にあり、1980年と2010年を比較すると、「65～74歳人口」は約5.0倍、「75歳以上人口」は約6.9倍になっている。

また、年齢3区分別人口割合の推移でみた場合、「65歳以上人口割合」が上昇傾向にあり、1980年と2010年を比較すると、約2.8倍になっている。

65歳以上の人口割合をみると、「65～74歳人口割合」と「75歳以上人口割合」はともに上昇傾向にあり、1980年と2010年を比較すると、「65～74歳人口割合」は約2.5倍、「75歳以上人口割合」は約3.4倍になっている。

2020年6月1日現在、「15歳未満人口」は15,129人、「15歳未満人口割合」は

16.43%、「15～64歳人口」は58,509人、「15～64歳人口割合」は63.55%、「65歳以上人口」は18,434人、「65歳以上人口割合」は20.02%となっている。なお、「65～64歳人口」は8,869人、「65～74歳人口割合」は9.63%、「75歳人口」は9,565人、「75歳人口割合」は10.39%である。

本市の人口ピラミッドを1980年と2010年とで比較すると、全年齢層で人口が増加しているなかでも、とりわけ第一次ベビーブーム世代（61～63歳）を中心とした60～69歳の人口と、第二次ベビーブーム世代（36～39歳）を中心とした30～44歳の人口が、他の年齢層よりも多く増加している。2020年6月1日現在では、70歳以上の割合が増加するなど、構造に変化がある。

人口増減の動態をみると、自然増減については、毎年500人前後の増加数で推移しており、2019年の住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査では、386人の自然増となっている。本市の合計特殊出生率は、1988年以降、1.4台で推移していたが、2008年～2012年には1.69と、愛知県の平均よりも0.18高くなっている。社会増減については、転出数において年ごとに数の波があるものの、全体としては社会増が続いており、2019年の住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査では、536人の社会増となっている。自然増減と社会増減とを合わせた人口増減の動態については、人口増の状態が続いている。

このように、本市においては人口が増加傾向にあるが、人口増加に比例して、良好な居住・生活環境に対するニーズが多様化し、増加する。また、コミュニティの維持等について、市内の地域毎に人口増加傾向に応じた対応が必要となる。人口と居住・生活環境のバランスが崩れれば、転入者減少・転出者増加、市民満足度の低下につながりかねないことから、住みやすさを本市の強みとして活かしていくために、居住・生活環境の向上は地方創生にあたって欠かせない分野となっている。

一方、本市においても高齢化は進行していくことが予測され、65歳以上の人口割合は、2010年では17.14%であったものが、2024年には20.94%となり、2030年には22.19%となる予測である。また、令和元年度日進市人口推計によると、総人口は2040年に100,942人となり、それ以降は人口減少に転ずる見込みのため、まちの持続的な発展に向けて取組を進めていくことが必要である。

これらの課題に対応するため、増加し続ける子育て世代・現役世代、高齢者世代に対する、環境整備及び支援の充実を行うことで、長く住み続けられる住環境を实

現し、定住者の増加を目指す。

なお、具体的事業に取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として設定する。

- ・基本目標 1 未来を担う次世代を支えるまちを創生する
- ・基本目標 2 健康長寿を支えるまちを創生する
- ・基本目標 3 大都市近郊における働きを支えるまちを創生する

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	「安心して子育てできる環境である」と感じる市民の割合	62.5%	70%	基本目標 1
	転入超過数の平均値	473人	580人	
イ	健康を実感している市民の割合	83.7%	95%	基本目標 2
	公共交通利用の不満割合	51.5%	40%	
ウ	家計所得額	327,684 百万円	344,000 百万円	基本目標 3
	年間刑法犯罪発生件数	445	年々減少させる	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

日進市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 未来を担う次世代を支えるまちを創生する事業

イ 健康長寿を支えるまちを創生する事業

ウ 大都市近郊における働きを支えるまちを創生する事業

② 事業の内容

ア 未来を担う次世代を支えるまちを創生する事業

働きながらも子どもを産み育てやすい環境整備や、社会環境の変化に応じた仕事と家庭生活の両立のための支援を推進する事業。

結婚から出産、育児までをトータルに支援する事業。

ライフステージにおける転機（大学入学、就職、結婚や出産、住宅購入等）ごとのニーズに合わせた情報発信や定住化を促進する事業。等

イ 健康長寿を支えるまちを創生する事業

高齢者や地域住民の交流機会の拡充や健康増進活動の推進を図り、地域ぐるみの健康増進を推進する事業。

地域交通網へのニーズ拡大・多様化へ対応するための環境整備事業や地域交通網を補完し、住民の利便性向上・拡充を行う事業。等

ウ 大都市近郊における働きを支えるまちを創生する事業

新しいニーズや感性に対応できる創業者の育成・支援事業。

大都市近郊にある立地を活かすため、市内だけでなく市外からも足を運んでくれる消費者の拡大を狙い、地域内経済活性化の拠点となる場の整備や観光関連産業の育成事業。

人口増と安全安心な環境整備を両立させるため、防犯対策等の充実を図る事業。

また、住みやすい地域環境を整備し、住民等の利便性向上を図る事業。  
等

※なお、詳細は日進市人口ビジョン・総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

産官学金労言の関係者や市民等で構成される「日進市総合戦略推進委員会」において、毎年度8月に、事業の検証を行い、意見を取り入れながら事業を実施していく。議会への報告後、速やかにホームページ等で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで